

支えあいのまちづくり協議体（日本橋地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体（第2層協議体）」の令和7年度第2回目を、日本橋地域（はまる一む）で開催しました。

1. 実施日

令和7年8月5日（火）16:30～18:00

2. 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関連機関、生活支援コーディネーター 計8名

3. 内容

・事務局より、第1層協議体の報告

・意見交換

① イベント「おいしく健康!食べながら学べる簡単レシピ」の振り返り

② 今後の取り組みについて

●意見交換

①「おいしく健康!食べながら学べる簡単レシピ」の振り返り

当日撮影した写真と参加者アンケートの結果（別紙1）を基にイベントの様子を共有し、各メンバーから当日及び準備段階を振り返り、意見交換を行った。

《広報・集客について》

- ・ 集客が難しかった。チラシの配布時期、広報先の優先順位の再検討が必要ではないか
- ・ 当日の天候に左右されたのではないかと、もう少し涼しい時期の開催を検討してみる

《会場・時間》

- ・ 会場の装飾を急遽行ったが、普段のはまる一むとの差別化をすることができてよかった。当初から気が回らなかったのが反省点。
- ・ はまる一むまでの距離が遠く、地理的に参加を躊躇した方が見られたため、開催場所も重要だと感じた
- ・ 参加者側も体験できるようなイベントの開催もいいのではないかと。
- ・ イベントの進行状況と天気の影響で早めに切り上げたが、功を奏し、ちょうどよい時間に収まったのではないかと。
- ・ 中途半端な時間だからと申し込んだが帰った方もいた。開催時間について再検討しても良いかもしれない。

《イベント内容について》

- ・ 調理するだけでなく、実食があることで、より“ちょい足し”のイメージがついて良かったのではないかと。
- ・ 講師の作業スペースが手狭であった印象。使用する食材の準備を前もってしておけば、よりスムーズな実演ができたのかもしれない

- ・ 簡単に、火を使わなくてもできるという点が、高齢者としては安心してできたのではないか
 - ・ 食材が大きすぎたのではないか。満足できる量を提供できたが、材料費を使いすぎたかもしれない
- 《スタッフ（協議体メンバー）の動きについて》
- ・ スタッフの人数が多く、少し圧迫感があった
 - ・ 役割分担をもう少し具体的にした方がよかったのではないか。
例）配膳係：参加者から進んで料理を取るの難しいため
 - ・ スタッフが参加者に混じっていたことで、話しやすい雰囲気ができていたと思う

②今後の取り組みについて

- ・ 男性向けにするなど、ターゲットを変えてシリーズ化してみるのはいかがでしょうか
例）男の～、親父の～、男性大歓迎とつける、男性が来やすい仕掛け、酒のあてなど
- ・ シリーズ化を前提とした場合、蛸殻町や久松町など場所を変えて実施するのはどうか
- ・ 別の地域にする場合、その地域に詳しいメンバーに入ってもらった方がよいのではないか
- ・ 浜町エリアマップを使ったイベントはどうか
例）マップに掲載されているところの人に出てもらい、はまる一むに集合してマップのどこかに行くなど
- ・ 通いの場交流会とし、体験もできるイベントがよいのではないか。
- ・ 通いの場の様子がわかる動画を作成し、参加者に見てもらえると参加意欲が高まるのではないか
- ・ 通いの場がまだまだ少ないため、場を立ち上げたい方向けの講座をやってみるのはどうか
- ・ 日本橋地域の施設（介護施設など）の案内はどうか
- ・ 次回イベントを行うのであれば、普段何をやっているのかアンケートで聞いてみるのはどうか
- ・ 近隣在住の方の出番・役割づくりができるとよいのではないか
例）1回目に来てもらった人に次回はファシリテーターとして参加してもらうなど
- ・ アンケートで希望のあった音楽関係や、スマホのアプリ使い方講座はどうか
- ・ 協議体メンバーでマップを活用し、実際に通いの場や人形町おとしより相談センターに行ってみるなど
してみてもどうか。

今後の協議体活動の方向性については、上記内容を基に再検討していく事とした。

4. 次回協議体：

令和7年12月2日（火）16:30～18:00 多世代交流スペース「はまる一む」